

秋小ギクの新品種「沖のひかり」, 「沖の乙女」の育成

照屋寛由¹⁾・関塚史朗(沖縄県農業試験場園芸支場・¹⁾ 沖縄県農業試験場名護支場)Hiroyoshi Teruya and Fumiaki Sekizuka :
Breeding of the Small Flowere Type Chrysanthemum Cultivars 'Okinohikari' and 'Okinootome'

沖縄県の小ギクは、秋小ギクの電照栽培による年末と3月の彼岸出荷を中心とした冬春期生産となっているが、栽培品種の多くは県外から導入されたものであり、既存の栽培品種より生育旺盛で生産性が高く、花色や草姿等品質が優れ、マメハモグリバエ等病害虫耐性を持つ新品种の育成が望まれている。そこで、秋小ギクのオリジナル品種育成に取り組み、沖縄地域の露地電照栽培に適する秋小ギクの新品種「沖のひかり」と「沖の乙女」を育成したので、その育成経過と特性の概要について報告する。

1. 育成の経過

「沖のひかり」: 1999年に園芸支場において、「OHB94-29-6」を種子親、「金秀」を花粉親とする実生集団の中から選抜されたものである。2000年に系統選抜試験、2001年に現地適応性検定試験を実施した結果、既存の品種より総合的に優れていると認められたので、「沖のひかり」と命名し普及に移した。

「沖の乙女」: 1999年に園芸支場において、赤系的小ギク「OHB96-5-60」の自然交雑実生集団の中から選抜されたものである。2000年～'01年に系統選抜試験、2002年に現地適応性検定試験を実施した結果、既存の品種より総合的に優れていると認められたので、「沖の乙女」と命名し普及に移した。

2. 特性の概要

「沖のひかり」: 到花日数は、年末出荷型で約53日、彼岸出荷型（3月）で約56日と、「沖の白波」より短く、「秋芳」よりは長い。自然開花は11月上旬の秋咲きである。開花揃いは優れる。花の色は明るい黄色で、花の大きさ、花蕾数は「沖の白波」とほぼ同じである。花房は整い、水揚げ、花持ちも良い。マメハモグリバエの被害は「沖の白波」に比べて少ない。苗の増殖率が高く、夏季における採苗も容易である（第1表、第2表）。

「沖の乙女」: 到花日数は、年末出荷型で約49日、彼岸出荷型で約53日となり、標準品種の「沖の白波」より短く、「芳香」よりはやや長い。花色は濃い赤紫で市場評価は高い。草姿は小ギクタイプであるが、花はやや大きい。開花揃いは優れ、一斉収穫が可能である。対照品種の「芳香」に比べて伸長性は優れる。水揚げ、花持ちも良い。葉は濃緑色の照り葉で、葉質は良い（第3表、第4表）。

3. 栽培に適する地域および作型

「沖のひかり」, 「沖の乙女」: 沖縄県の冬春期（年末～4月中旬）の露地電照栽培に適する。

4. 栽培上の注意点

「沖のひかり」: 年末出荷作型～彼岸出荷作型までは開花揃いが極めて良いが、4月は開花揃いがやや悪くなる。
「沖の乙女」: 再電照してボリュームをつけることが望ましい。

第1表 新品种「沖のひかり」の開花時の特性

作型	品種・系統名	収穫月日	到花日数	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	花径 (cm)	花首長 (cm)	一次分枝数	花蕾数	葉長 (cm)	マメハモグリバエ被害率 (%)
年末	沖のひかり	11/30	53	72	52	5.4	3.8	1.9	17	23	6.7	—
	沖の白波 (標)	12/4 - 5	58	65	67	5.6	4.3	5.5	20	25	7.7	—
	秋芳 (比)	11/25	48	63	41	5.3	4.6	3.3	17	28	5.8	—
彼岸	沖のひかり	3/4 - 7	56	74	70	7.5	4.2	2.7	15	20	9.6	13
	沖の白波 (標)	3/10 - 14	62	93	81	6.2	4.5	6.4	14	20	9.7	18
	秋芳 (比)	3/2 - 6	54	73	44	5.0	4.7	1.2	14	18	8.4	0
4月	沖のひかり	4/15 - 17	56	91	48	5.9	4.2	3.5	13	20	8.2	16
	沖の白波 (標)	4/22 - 23	63	101	86	8.9	4.2	9.4	17	19	10.5	93
	秋芳 (比)	4/10 - 12	51	87	54	6.5	4.4	3.7	12	25	7.8	21

第2表 新品种「沖のひかり」の切り花の規格別割合・収量および評価

品種・系統名	規格別割合				収量 (本/a)	評価				
	L (%)	M (%)	S (%)	格外 (%)		花色	草姿	開花揃	苗増殖	葉質
沖のひかり	81	11	4	4	5231	○	○	◎	○	○
沖の白波 (標)	79	10	5	7	4725	△	○	△	◎	△
秋芳 (比)	72	13	6	9	5160	◎	○	○	△	◎

第3表 新品种「沖の乙女」の開花時の特性

作型	品種・系統名	収穫月日	到花日数	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	茎径 (mm)	花径 (cm)	花首長 (cm)	分枝数	花蕾数	葉長 (cm)	マメハモグリバエ被害率 (%)
年末	沖の乙女	11/23	49	91	51	6.1	5.0	4.6	12	18	7.6	20
	沖の白波 (標)	11/30	56	102	51	6.1	4.3	4.8	20	25	7.7	53
	芳香 (比)	11/21	47	85	52	6.2	4.1	2.5	17	23	6.9	11
彼岸 (3月)	沖の乙女	2/27 - 3 / 2	53	94	72	6.4	5.8	5.4	12	13	7.8	23
	沖の白波 (標)	3/10 - 13	64	92	86	6.2	4.4	6.4	16	18	8.7	37
	芳香 (比)	2/27 - 3 / 1	53	90	78	6.2	4.2	3.0	19	20	7.5	7
4月	沖の乙女	4/18 - 20	53	97	77	8.3	4.8	5.0	11	12	10.0	75
	沖の白波 (標)	4/30 - 5 / 3	65	109	85	9.1	4.2	6.7	14	17	11.6	58
	芳香 (比)	4/12	46	92	56	7.2	4.1	2.4	17	19	8.7	17

第4表 新品种「沖の乙女」の切り花の規格別割合・収量および評価

品種・系統名	規格別割合				収量 (本/a)	評価						
	L (%)	M (%)	S (%)	格外 (%)		花色	草姿	開花揃	苗増殖	葉質	花持ち	
沖の乙女	76	10	3	10	5220	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
沖の白波 (標)	57	17	9	17	5250	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
芳香 (比)	48	16	16	20	4500	◎	◎	○	△	◎	△	△

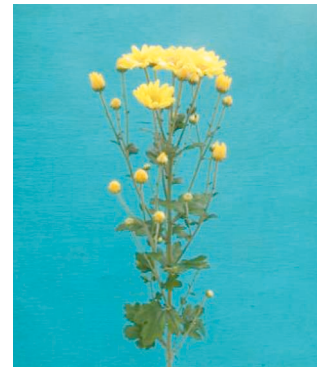


写真1 秋小ギクの新品種「沖のひかり」



写真2 秋小ギクの新品種「沖の乙女」